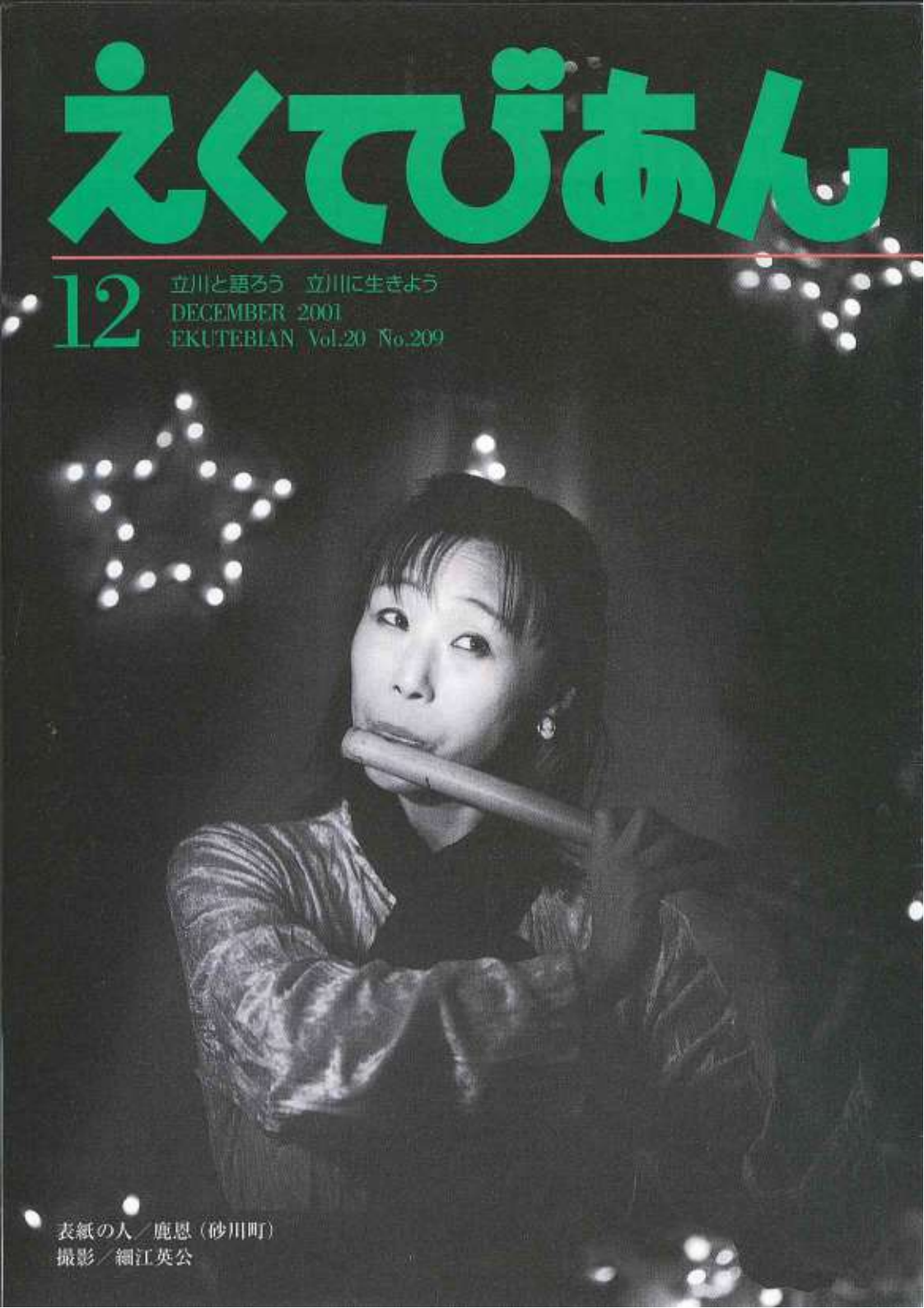


えくてびあん

12

立川と語ろう 立川に生きよう
DECEMBER 2001
EKUTEBIAN Vol.20 No.209

表紙の人 / 鹿恩 (砂川町)
撮影 / 細江英公



富士山 (3776m)

案内人 守屋龍男



[立川高島屋屋上から]

世界に誇る秀麗の峰

ブラジルに移住して40年になる私の実弟が先般一時帰国をしたが、「多くの国々の山を見てきたが、やはり富士山が一番美しい山だ」と感激さめやらぬおもむきで話していた。「毎日見ている兄貴がうらやましい」とも言っていた。

立川からは南西の方角に、道志の山々の上にひととき高くコニーデ形の秀峰が見える。そして、毎年1月2日頃には赤紫の夕焼け空を背景に黄金色の落日が、富士山頂に沈むのを見ることもできる(多摩川のJR中央線鉄橋付近から)。

今年8月にスパルライン終点の五合目から富士山に登った。相変わらずの大混雑であった。旅行会社のツアー客が多く、旗を持った山岳ガイドに連れられた20人程のグループが幾つも登っていた。数多くある山小屋は

どこも超満員で一畳に二人が足を差し向かいにして眠る「雑魚寝」の状態。同宿した外国人が目を白黒させていた。未明から山頂を目指す登山者が切れ目なく登り、ご来光の時刻(朝5時頃)には山頂は立錐の余地もないくらい、人、人で一杯であった。

どうやら、富士山は登るより眺めた方が良さそうだ。

山梨県の忍野八海から眺める富士山は秀逸である。ことに晩秋から厳冬にかけての時期に、湧水池から湧き上がる霧(水温が14、5度と外気温に比べて温かいので霧や霧が発生する)の向こうに屹立する白雪の富士山はまことに秀麗、かつ雄大である。「富士には月見草が似合う」と太宰治が言ったが、忍野八海の霧もなかなか似合う。

【編集部よりお詫びと訂正】

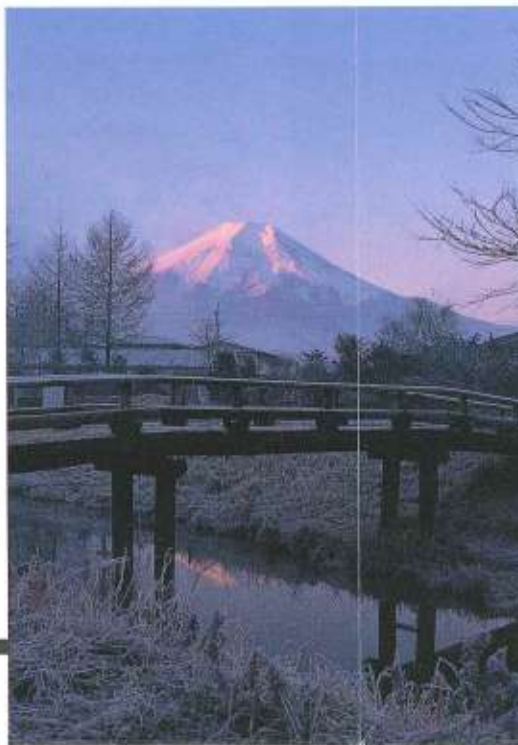
11月号「三頭山」の標高が1351mとあるのは誤りでした。1531mが正しい標高です。

[行程]

JR立川駅=中央線50分=大月乗り換え=富士急行線50分=富士急ハイランド駅=富士急バス40分=富士山五合目=3時間10分=八合目小屋(宿泊)=1時間30分=富士山頂=2時間=五合目より往路を戻る(歩程約6時間40分)。なお、立川より直通電車もあるが、季節限定なのでJRの駅に確認した方がよい。

*忍野八海へは、富士急富士吉田駅からバス20分、お宮橋で下車5分。八海全部回るには2時間ほどかかる(霧の状態が良い日の出前に行くには、現地宿泊がマイカーで行く)。

夏の賑わいと対照的に冬富士は峻厳そのもの。忍野八海、太宰治の天下茶屋など秀峰を望む名所も多い。



私と富士山

初めての富士山は昭和24年6月。番傘に地下足袋、食料は進駐軍のイモ缶詰を背負っていました。気象庁山岳部で多くの山行をともにした作家・新田次郎からピッケルを譲られたのも厳冬2月の富士。一言で語り尽くせない山です。

庄司 亮さん(柴崎町)





はじめは勿論「日本」 いまは「世界百名山」です。

元・立川七小校長
有賀信夫さん

啓介 先月号で有賀先生の「世界百名山」の挑戦を「えくてびあんの眼」で掲載したら、大変な反響でした。立川にそんな人がいたのか、と。
有賀 そんな大それたことやってるわけではありませんよ、好きな山登りを続けているだけです。
啓介 失礼ですが、おいくつになられますか？
有賀 昭和十年の生まれですから、六十



■有賀信夫(ありがのぶお)／昭和10年生まれ。東京学芸大学教育心理学を卒業。卒業後、立川市、青柳市、国立市などで小学校教諭を歴任してきた。この間、長年にわたり児童臨床心理学、学校教育相談の研究と実践、普及につとめ、学級担任のかたわら、教育相談室の兼任相談員を10年つづけてきた。立川市立第七小学校校長を最後に現役勇退。以来、高校時代から始めた登山に精励、一方、短歌の道にいそしんできた。歌集に「花の山稜」(短歌新聞社刊)などがある。
■立井啓介(たていけいすけ)／本誌編集人。

六になりますね。六年前に校長を退めたんです。それからはこの、奥蔵科の山荘に四日、若葉町に三日という調子で。
啓介 はあ、山の生活の方が多い。大体いつ頃から山をはじめられたんですか？
有賀 高校に入ってからです。「山岳部員募集」のビラを見て、ふらっと。それで丹沢とか八ヶ岳、それに南アルプスへよく行きましたね。今は厳しいことはやらない風潮ですから、山岳部はあまり盛

んじやないようですが。
啓介 そう、先生の年代だとキスリングと呼ばれる大きなザックをかついで新宿の駅なんか、中央線に乗る若者でにぎわっていましたね。
有賀 真夜中の11時55分発の松本行きなんか、座席の下に寝て、よく通った。
啓介 若者が健全というのか、皆んな眼を輝かせていましたよね。
有賀 おふくろはよく「お前は前の世でこんな重い荷物しょって、きたない格好してさ」なんて云ってました。まあ、当時としても変りダネだったんでしょうね。
啓介 そうすると、大学も山岳部？
有賀 いや、山には登り続けてましたけど、自分で自由に歩きまわってました。
啓介 小学校の先生だから、社会人になっても山登りは続けやすかったでしょ、夏休みとか冬休みとか。
有賀 小学校の教師って、案外に大変なんです。音楽も園工もやりましたし。それでも山はよく登りましたよ。
啓介 結婚すると止めてしまう人も多いようですが。
有賀 私の場合は結婚したら妻と。子供が生まれ子供を連れて登ってました。もともと、最近では少しバテがきましてね、特に「下り」がきつい。ダブル・ストックといつて、両手にストックをつけてやっていますけど。
啓介 よく「生涯学習」なんて云うけれど、有賀先生のは「生涯登山」ですね。当時は「百名山」なんてさわく人はあんまりいなかったですよ。
有賀 あればね、深田久弥さんという作家が「日本百名山」という本を出してからです。私が最初にみたのは雑誌に連載中でしたけど、登山者の間では当時から

れば山の様相ががらりと変わってきますからね。
啓介 深い。
有賀 ですからね、「数」を稼ぐという発想はもっていませんでしたけど、試しに今まで幾つくらい登ったか数えてみました。そうしたら、百のうち47座登っていた。そうすると、あと53座かあ、と思っポチポチ登りはじめたんです。
啓介 有賀先生は登る頻度も相当なんですよ。
有賀 大体、月に二回ですね。やはり「慣れ」というものがありますからね。身体の方もそうですが、心も含めて。
啓介 何でもそうですよね。継続というのは、身も心もその世界にいつも慣らしおくというのは、確かにコツと云えばコツですね。でも、そうしたら、一年に百座くらいは軽々とやっつてのけられる。
有賀 そう軽々でもないですがね、とにかく登ってました。「百名山」を全部登ったのは三年前です。今でもはつきり憶えています。アラシマ岳でした。
啓介 アラシマ？
有賀 荒島岳といって北陸にある一五二

四メートルの山なんですけど、あまり高くないし、私の目からすると取り立てていふ程の名山ではないんですけど、この山は深田さんのふるさとのお山ですからね。そつと一座入れておいたんじゃないですかね。
啓介 「ふるさと」の山はありがたきかな？
有賀 ですから、そのくらいの許容量はあつて当然でしょう。私でしたら、北陸といえは、すぐに白山を想い浮かべますけど。
有賀 白山は人も知る名山ですから、当然、入っております。で、とにかく荒島岳をもって、私の百名山は終わったわけですよ。
啓介 生涯登山の大成果。
有賀 いや、私はそれ程に思いつめなかつたですね。まあ、一応の「通過点」というくらいです。
啓介 次は「世界」へというわけですね。
有賀 若い時にですね、ヨーロッパではどのようにスキーを指導しているのか、研修で視察するという機会がありましたね。
啓介 視察というのは名目で、本当は自分が滑りたかったんでしょう。

(奥蔵科の有賀山荘にて)

特選しほ茶・海苔 菊川園	柴崎町2-5-6 526-2035
Cafe COLORADO	柴崎町2-5-8 526-2285
西階西階 グランディール	柴崎町2-5-8-2F 522-0729
マエダ文具店	柴崎町2-6-2 525-6584
Natural Life Shop ピュアグリーン	柴崎町2-6-2 521-2890
スタジオ269	柴崎町2-8-10 527-0269
写真のエース	柴崎町2-9-2 523-0851
Fashion You Me	柴崎町2-9-28 523-1640
石原薬局	柴崎町2-10-3 523-4087
豆腐 やざわ屋本店	柴崎町2-10-14 522-4338
サイクルハウス 輪輪館	柴崎町2-12-17 522-8100
ビジネスHOTEL クボタ	柴崎町2-12-23 522-1122
いなげや 立川南口店	柴崎町2-12-24 526-2947
いなげや・のりききし 松月	柴崎町2-17-20 523-4758
カフェテリア 木の葉	柴崎町2-17-23 522-9251
カレーショップ 砂時計	柴崎町2-18-10 525-2414
クリーンデンタルクリニック	柴崎町2-21-12 527-1137
ビューティーサロンウイスタリア	柴崎町2-21-15 527-1116
ロッテリア 立川南口店	柴崎町3-1-3 522-3928
関西料理 紀の川	柴崎町3-4-3 525-5825

えくてびあんの輪
人があて、街があります。
あなたがあて、立川があります。
そこにちょっとだけ、えくてびあん！
リストのお店にはいつでも、えくてびあん！

とんかつ専門 かつ亀	柴崎町3-5-2 525-7647
宝飾・時計・メガネ ヨシダ	柴崎町3-5-4 522-2448
紙匠 雅	柴崎町3-5-11 548-1388
パティスリー・菓子・洋菓子 イスパニスタ	柴崎町3-6-3 522-2969
サンカメラ	柴崎町3-7-22 522-3336
あさひ銀行 立川支店	柴崎町3-10-1 522-4161
松山堂薬局	柴崎町3-13-25 522-2550
こむろ酒店	柴崎町3-14-3 522-2613
矢沢歯科眼科	柴崎町3-16-2 525-6600
ダイクマ 立川店	富士見町1-24-9 526-1161
手作りケーキの店 プティパニエ	富士見町1-31-19 529-8364
酒 ESPOA おぎの	富士見町4-17-7 522-4500
株式会社 一如社	富士見町5-1-7 527-2211
株式会社 立川印刷所	富士見町5-6-15 524-3268
SHOP99 立川富士見町店	富士見町6-15-3 540-1799
JA経済センター立川店	砂川町2-44-3 536-1824
JA東京みどり 立川支店	砂川町2-44-3 536-1821
沖崎料理・古酒 KINGS CROSS	柏町3-1-2 536-1774
ペーカリー リオンドール	柏町3-3-5 535-4882
レストラン&BAR WEST PORT	柏町4-64-3 536-4569

『父の遺言』

第2回 えくてびあんトークサロン・池部良講演会

- 平成13年10月19日/パレスホテル立川
- 主催/えくてびあん編集工房・多摩てばこネット

日頃のご愛読に感謝を込めて、毎年秋にお届けする「えくてびあんトークサロン」。昨年の谷川俊太郎さんに続き、今秋は俳優の池部良さんをわが立川にお迎えした。一世を風靡した映画スター。そして今、エッセイストとして文名を馳せる池部さん。名優の存在感はそのままに、江戸っ子気質のユーモアを交え、ご自身の少年時代を語った70分。飄々とそして独特の滋味が溢れる“池部節”に、かけつけた約700人のファンはたっぷりと酔いしれた。



講演に入る前に、剣持伴紀さん（榮崎町）が池部さんの作品「そよ風ときにはつむじ風」を朗読。昭和初頭の東京、質素だが幸せな家族の光景が、聴衆の眼前に浮かび上がる。司会は馬越淑美さん（榮崎町）。

講演前のひととき、三田鶴吉さんの案内で陸上自衛隊立川駐屯地を訪問。ここには池部さんの軍隊時代所縁の品々が所蔵されている。



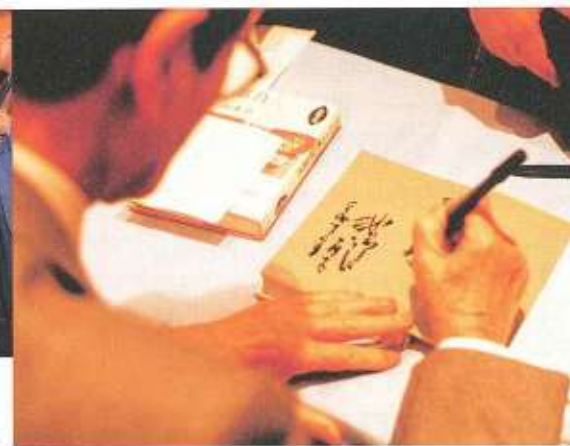
思い出の品々を前に、しばし感慨にふける池部さん。



「私は台本をもらって台詞を覚えるのが商売でして、今日はどうなっちゃうんだか…。映画やドラマでの姿とはひと味違う、独特のユーモアに満ちた語り口。洒落っ気の中にも、亡き父母への深い思い入れが滲み出る温もりの講演。



講演後に行われたサイン会では熱心なファンが殺到。ひとりひとりに親しく語りかけながら自著にサインを。



(砂川町)

東京・浅草生まれ、横笛奏者。幼少のころから地元の祭り囃子に親しんできた。その後、横笛を本格的に習得、93年よりご主人と組んで「天然音楽浴」を創造する。音楽のジャンルにこだわることなく、人の心を癒す方向性を見いだしてきた。いわゆる、リラクゼーションの神髄に迫ろうというもの。魂の奥深くに横笛の音を探し日常と云える。ご主人の甲斐津朗さんはアフリカ系を主体とするパーカッション。この夫婦ユニットは今、全国をたびたび盛り立てる演奏活動をつづけている。

(於:昭和記念公園/撮影:細江英公)

東風

今年の夏は猛暑つづきでしたが、その期間は案外短く、あっという間の出来事だったように思う。そういえば秋も短かったねえ、と先日の会話。立冬を11月の7日に迎え、早くも「冬」の到来とはなった◆立冬の前日、東京青山のカナダ大使館で彫刻家のクロード・デコート氏(高松町)の記念回顧展のオープニングパーティが催され、内外のアーティストたちが参集、盛んな賞賛をあげていた。帰路、大使館の庭園には枯葉が舞い、木枯し第一号となっていた。ああ、もう冬なんだと実感した夕べ◆俳優でエッセイストの池部良さんの講演「父の遺言」が予想外の反響で、なるべく多くの方々に聞いていただきたいという思いから、会場をパレスホテル・立川に急遽変更。突然の申し込みに、特別の配慮をしてくださった同ホテルに深謝。池部さんと立川は所縁があると聞いた。自衛隊に戦時中の軍服、千人針、金銭出納帳などが記念に寄贈されていたのであった。仲介役の三田鶴吉さんも同道してくださり、立川駐屯地へ招待されるというひと暮も。池部さんにとっては、多忙をきわめる一日になったわけ、あれだけのスケジュールをこなすエネルギーがどこから湧いてくるのか、84歳◆木枯しや使徒の寝息も えてびあん

【第三次えてびあん同人】
編集 大久保清志/小林康史/杉山清純/
芳賀敏博/山田五郎
デザイン 池田隆男/AMNET DF
写真 中村伸/五来孝平

えてびあん 12月号

第20巻 通巻209号
平成13年12月1日発行
発行 えてびあん編集工房
〒190-0012
東京都立川市曙町2-17-5 杉田ビル3F
TEL. 042-528-0082 FAX. 042-528-0065
編集人 立井啓介
発行人 瀬尾勲三
印刷 (株)大廣社

最新紙を禁じます。

Topics トピックス

詩人・清水たみ子さん ポエムの国へ

日本を代表する詩人、清水たみ子さん(若葉町)が「現代少年少女詩・童謡展」に参加、その代表作を自筆で展示。多くの文学愛好家から賞賛を受けた。

会場は土屋文明記念文学館、会期は10月14日から11月25日まで。

同展には谷川俊太郎、阪田寛夫、まど・みちお、江間章子ら長年にわたって詩活動を続けてきた人々の活躍が紹介され、落ち着いたなかにも深い感銘を観覧者に与えていた。

第一線で活躍中の詩人72人、それに今回は特別に32人のイラストレーターも参加して、作品に色を添えた。

また、10月21日には工藤直子さんの講演「子どものころ、詩のころ」が催され、その席には清水たみ子さんも体調不良を冒して姿をみせ、熱心に聴きいていた。

なお、土屋文明記念文学館は群馬県立でJR高崎駅あるいは前橋駅よりバスで30分のところに位置する。



安田君ら熱弁をふるう 立川市中学生の主張大会

去る11月4日に、アミューたちかわ大ホールにおいて「立川市中学生の主張大会」が催された。21回を数え、主催は立川市青少年問題協議会、立川市教育委員会。

当日は同会場の大ホールがいっぱいになるほどの盛況ぶり、20人の「弁士」が熱弁をふるった。

世間では、なにかと中学生問題が話題になっているが、各学校の代表者のオピニオンの深さ、広さに聴衆からは驚きの声があがっていた。

結果。市長賞に安田直人君「ハンセン病資料館を訪れて考えたこと」(第四中学校)、議長賞に岡部真由子さん「強く生きること」(第六中学校)、それに江沢 剛君「伝統芸能を伝える」(第一中学校)の二人。教育委員長賞に野木村 翠さん「不登校未満」(第七中学校)、山下加奈さん「平和なくらしを求めて」(第三中学校)などに決定、各人が表彰されて喝采をあげた。



手打ちそば しえもと

●曙町2-20-5 ●529-5468
●11:30~14:00、17:30~21:30
(ラストオーダー 21:00) ●日曜・祝祭日定休
●カウンター4席、テーブル12席 ●Pなし

フレンチから蕎麦へ
食材を追求したらこうなった

圧倒的なコストパフォーマンスの高さで近隣のOLはじめ、近郊のマダムたちに人気だったフランス料理店「シェ・モト」がこの度、大幅なリニューアルを果たし、手打ちそば「しえもと」に生まれ変わった。

店主の秦 本彦さんは、26歳のとき、単身でフランスに渡った。本格的なフレンチを直に学ぶためだ。パリのレストランでの修業の末、帰国。32歳で、地元・立川の地に自分の店を構えた。以来、お客が口コミで押し寄せ、昼のランチ時には常に満席状態という盛況ぶり。その流行の店を何故、蕎麦屋に変身させたのか。それは父上の影響を色濃く受けている。父が趣味で始めた蕎麦打ち。その手助けを物心つくころにはすでに石臼を回していたというから、秦さんにとって蕎麦はまさにソウルフードなのだろう。蕎麦は味が誤魔化せない非常に繊細な食べ物。それだけに素材には、とことんこだわる。蕎麦の産地を渡り歩き、無農薬・有機栽培の香り豊かな玄蕎麦を確保。ついには長野県黒姫高原にて自家栽培にも取り組んでいる。フレンチで身につけた調理技術を柱に、厳選した蕎麦を石臼にかける秦さんの顔は清々しい。



せいろ 800円(写真中央)
そばと貝柱のリゾット仕立ての春巻き 800円(写真左)
自家製 鴨の生ハム 蕎麦屋仕立て 700円



真味百撰 56

30さんの独断毒語

逢う

人間、ひとに「逢う」ということが、その人の人生をどれほど左右するかを思い知らされた。作家・安岡章太郎さんが文化功労者として選ばれました。文化勲章に次ぐ大きな賞です。吉行淳之介、遠藤周作はすでに故人となられましたが、劣等生の文学として知られる「第三の新人」のひとり、章太郎の代表作には「海辺の光景」「軟骨の精神」などがあります。その安岡さんと逢うことになろうとは夢考えなかつたこと。第一、私は高校二年生、文学のブの字も知らない少年でした。

兄が小説世界に傾倒して、同好の志と同人誌『白都』を主宰しており、東京・渋谷の喫茶店で文学サロンをやっておりました。あるとき今度、安岡章太郎を開く会を開く、ついではお前司会をやってくれないかと云うのです。なんと場違いなと思いましたがまあ、兄貴のたつての頼みでありますから、おそろおそろ首を縦に振ったのです。

その席で安岡さんは、高校生の坊やとしてではなく、ひとりの人間として、自分がどんなに劣等生であるか、これまでも仕事らしい仕事は何もしてこなかったし、これからもどんなものが書けるか見当もつかない、でも今の自分にはそれから徴収するので、お前は近くの別の喫茶店で二人で話してくれ、というのです。さあ、困った。あの頃、安岡さんはまだ三十代、この少社の作家と何をどう話せばいいのか。私はまだ高校生の世間知らずです。



イラスト: 藤 幸子

でも、心裏に安岡章太郎のひと言ひと言が、まるで埋火のように消えずに残っていたに違いないのです。私は気がつけばもう三十年以上も文章でたすきを立てている。その後、多くの作家、編集者に出逢う機会に恵まれましたが、あの「章太郎さんと二十分」がなければ別の道を歩んでいただろうことは確かです。

安岡章太郎の「軟骨の精神」をいつも心に沈めていた自分に気がつき、文化功労者という大賞のお祝いを申し上げた、今年の秋はこうして暮れました。(やまだこうろう・詩人)

立川と多摩地域が
もっと楽しいホームページ

多摩ではこ ネット

http://www.tamatebako-net.jp/

多摩ではこネット編集工房
〒190-0012 立川市曙町3-4-3 武蔵ビル2F
tel 042-548-9606 fax 042-548-9609
e-mail message@tamatebako-net.jp

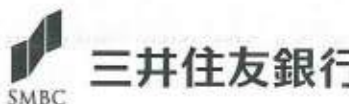
常楽我浄

真如苑提供番組くじらくがじら

スカイパーフェクトTV 21ch. マイテレビ 84ch
土 曜 午前9時~9時15分
午後7時15分~7時30分
再放送/火 曜 午前9時~9時15分
午後7時45分~8時
放送時間は予告なく変更する場合がございます。

立川に育てられて六十五年
真如苑
保良町1-2-13 Tel. 527-0111(代)

先進性と独創性で、
価値あるサービスを。



三井住友銀行

立川支店
〒190-8690 立川市曙町 2-6-11
Tel 042-522-2151

デジタルえほん メモリーブックにどうぞ...



ミッキーや
キティちゃんを
一緒に...!!
あなたの
写真と名前が
絵本の中に入ります。

PLANNING・DESIGN・PROCESS・PRINTING
大廣社 042-527-1911
〒190-0022 東京都立川市錦町5-17-13
FAX. 527-1949
E-mail dkcoya@nifty.com

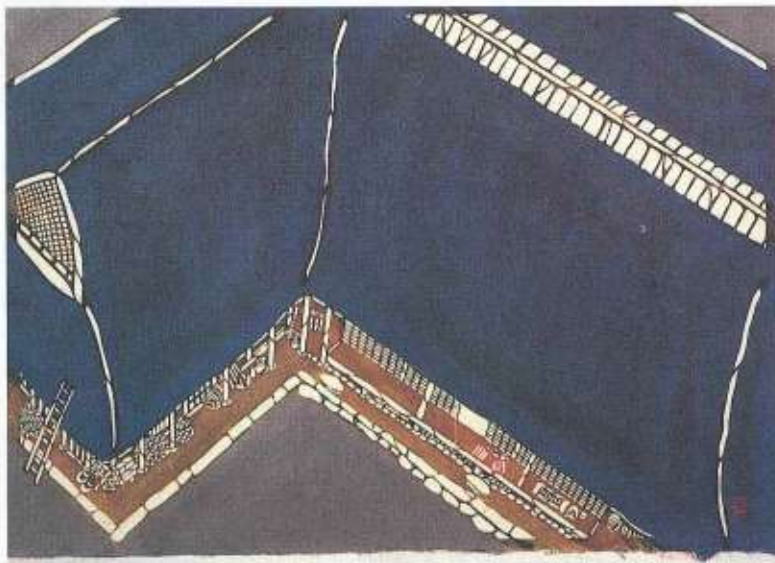
いつも、旅

型染版画家・田中清の世界 ⑤



多摩の新景より
「国立駅」
(国立市)

岩手県の南部を旅した時の作品です。「曲屋」というのは、かぎ形に曲がった平面をもつ民家のことです。牛馬と起居を共にして、そこには限らない「ぬくもり」を感じますが、それは都会人のセンスで、少し眼を奥へ向ければ、そこには生活の「厳しさ」が滲み出ております。柳田国男の世界が溢れておりました。旅は「お話」だけでは通り過ぎることのできない深さが味わえるものです。



「南部曲屋」